

## 2002

### 【活動の経緯】

日本建築学会（Aij）では2002年度から「地球環境時代における住環境教育のあり方」を検討してきた（2002年大会に同名のシンポジウムを開催）。

### 【問題の認識】

学校教育の一環として、学校教育のなかで地球環境配慮型の住環境教育を取り上げてもらい、広く生徒・児童の意識形成につなげることが地球環境配慮行動の実践には近道。

### 【活動の戦略】

教材・実践事例を収集・分析するとともに、情報ネットワークの整備を試みる。

### 【活動の目的】

居住者の建築と地球の環境に対する認識を深め、自発的な地球環境保全活動や健康・快適・低環境負荷の住環境創造を促すための教育実践方法を検討し、その普及のネットワークをつくる。

### 【活動の舞台】

結果として、環境省「学校エコ改修を環境教育」補助事業への環境教育委員会座長・建設委員会座長、ゲストティーチャーなどに委員の多くが派遣された。これ以外に杉並エコスクール、親と子の都市・建築講座ほか。

## 2003

2003.4～2005.3

住環境教育特別研究委員会

委員長：吉野博（東北大学）

幹事：鉾井修一（京都大学）

三浦秀一（東北芸術工科大学）

他委員 14名

●2004.8.12 公開シンポジウムの開催  
「気持ちよく住むなんて簡単!?」を実施（仙台）  
住環境教育の意義に関する講演、実践事例の報告、ワークショップの実演、ディスカッション。



●2005.4～2006.3 生ゴミ堆肥化装置を用いた小学校での環境教育  
／平石年弘（明石工業高等専門学校）

明石市立花園小学校  
「生ゴミ」と「土」にテーマを絞り、主に実験とティスカッションを行った。



神戸市立長楽小学校  
・生ゴミから作った堆肥を畑で利用  
・育てた野菜を地域に販売



## 2005

2005.4～2007.3

地球環境時代における教育小委員会

委員長：吉野博（東北大学）

幹事：菅原正則（宮城教育大学）

三浦秀一（東北芸術工科大学）

他委員 14名

●2006～2008 環境教育教材の事例収集  
Aij 教育・教材事例公開プラットフォームでの教材公開

- 2006-010 建物の熱的性質に関する実験演習  
／宿谷昌則（東京都市大学）
- 2008-001 明るく強い建物デザインを考える教育  
／菅原正則（宮城教育大学）
- 2008-002 居住空間における環境の可視化を導入したWS  
／菅原正則（宮城教育大学）
- 2008-003 人間温度計になろう！冬の陣  
／谷口新（大妻女子大学）・田中稲子（横浜国立大学）  
／子ども教育事業委員会企画  
運営学生スタッフ（大妻女子大学・横浜国立大学）
- 2008-004 窓が夏の断熱性能と伝熱機構に関する実験演習  
／西川竜二（秋田大学）
- 2008-005 室内熱環境調整法を学ぶためのペットボトル実験  
／高橋達（東海大学）
- 2008-006 雨水を活用した洗濯の体験学習  
／高橋達（東海大学）
- 2008-007 身体感覚と生態学にもとづくトイレ・排泄の体験学習  
／高橋達（東海大学）

●2007 環境教育用教材の刊行  
「学校のなかの地球」を刊行  
シンポジウム「学校のなかの地球」を開催  
内容：住環境教育の意義に関する講演、実践事例の報告、ワークショップの実演、ディスカッション。



●2005～2012 環境省「学校エコ改修と環境教育事業」における環境教育の座長・ゲストティーチャー



環境省「学校エコ改修と環境教育事業」とは  
建物性能の向上や新エネなどを導入した快適な学校環境づくりと、学校と地域が協力した環境教育による、民生部門での温暖化防止のための補助事業です。

## 2007

2007.4～2011.3

地球環境時代における教育小委員会

委員長：宿谷昌則（東京都市大学）

幹事：菅原正則（宮城教育大学）

高橋達（東海大学）

他委員 14名

全国のモデル校における協力・支援実績

モデル校	協力体制	委員氏名	年度
●黒松内中学校	環境教育検討会 エコ改修検討会	齊藤理也（札幌市立大学） 齊藤理也（札幌市立大学）	2005～2007 2005
●水沢小学校	環境教育検討会 環境教育検討会 エコ改修検討会	菅原正則（宮城教育大学） 西川竜二（秋田大学） 菅原正則（宮城教育大学）	2005～2007 2005～2007 2005
●第七峡田小学校	環境教育検討会 環境教育の実践	吉野博（東北大学） 小澤紀美子（東京学芸大学）	2005～2007 2005～2007
●高森南小学校	環境教育検討会 環境教育検討会 エコ改修検討会	宿谷昌則（東京都市大学） 高橋達（東海大学） 高橋達（東海大学）	2005～2007 2005 2005
●西条中学校	エコ改修検討会	田中稲子（横浜国立大学）	2005～2007
●野市小学校	エコ改修検討会	宿谷昌則（東京都市大学）	2005
●中央小学校	エコ改修検討会	村田昌樹（OMソーラー）	2007
●瀬和高等学校	エコ改修検討会	齊藤理也（札幌市立大学）	2007
●富士中学校	環境教育検討会	小澤紀美子（東京学芸大学）	2008
●聖小中学校	環境教育の実践	宿谷昌則（東京都市大学）	2009
●堺高等学校	環境教育検討会	宿谷昌則（東京都市大学）	2009
●赤羽第四小学校	エコ改修検討会	宿谷昌則（東京都市大学）	2009
●水俣第一中学校	環境教育の実践	宿谷昌則（東京都市大学）	2011

【凡例】  
● 平成17年度採択校 (9校)  
■ 平成18年度採択校 (9校)  
◇ 平成20年度採択校 (2校)  
△ 平成21年度採択校 (3校)  
○ 自治体職員が学習内容を応用して役場に設置。  
○ 断熱・エコ改修の意義が改修後の小学校で浸透。  
○ 町民に波及効果！  
○ 断熱で得た温もりをドア開放して逃がしてはもったいない（教頭先生考案）。



## 2011

2011.4～2012.3

地球環境配慮型住育小委員会

委員長：高橋達（東海大学）

幹事：菅原正則（宮城教育大学）

高柳有希（㈱IJIジャーナル）

他委員 12名

●2012 建築学会教育賞を受賞 宿谷昌則（東京都市大学）

建設学会教育賞を受賞  
住まいが良い環境をつくる  
宿谷昌則に聞く  
建築教育の意義

毎日建設工業新聞  
平成24年5月18日掲載

【モデル校での支援事例：全国会議での取組】

●2011. 1 フィールド体験型分科会（体感型WS）  
冬の改修していない校舎と断熱改修された校舎の温熱環境を体験しながら、エコ改修された校舎を運用していく際の課題を発見する。



【モデル校での支援事例：2005～2008 長野県高森南小学校での取組 高橋達（東海大学）】



環境教育検討会・家庭科授業におけるペットボトルを用いた断熱・遮熱の実験



自治体職員が学習内容を応用して役場に設置。



断熱・エコ改修の意義が改修後の小学校で浸透



断熱で得た温もりをドア開放して逃がしてはもったいない（教頭先生考案）。

## 2013

2013.4～2015.3

ライフスタイルと教育小委員会

委員長：高橋達（東海大学）

幹事：菅原正則（宮城教育大学）

高柳有希（㈱IJIジャーナル）

他委員 12名

【教育メソッドの確立】

住環境教育で目標とする学習プロセスの確立  
外れてもいいから結果をまず予想し、次いで実際に得られた体感と自分のもつイメージを対応させ、測定などで得られた環境物理量の体感にもとづく価値づけを行なう（数値へと認識する）という学習プロセス



- (はずれてもよいから) 予想する。
- 体感とイメージを対応させる。
- 体感+数値→数値

●2014 香川県環境学習教材開発協力 妹尾理子（香川大学）  
「香川県環境教育教材『さめきつ子環境スタディ』における住環境教育」



2014. 3 発行  
『さめきつ子環境スタディ』  
『さめきつ子スタディ』  
—第2弾・エネルギー編—

●2013 浜松市の環境学習教材開発協力 村田昌樹（OMソーラー）



2013. 3 発行  
『Eスイッチサポートガイドブック』  
～楽しく環境教育はじめてようエコライフ～

●2014 スリランカでの生ゴミ堆肥化に環境教育・ライフスタイル支援 平石年弘（明石工業高等専門学校）



## 2014